

資料解題

本冊子は、日本アラブ関係国際共同研究国内委員会事務局によって昭和 55 年（1980 年）から同 57 年（1982 年）にかけて発行された『日本とアラブ—思い出の記—』の（その 1）（その 2）（その 3）の三分冊を、そのまま再録し、合冊したものである。各分冊それぞれの書誌情報は以下の通りである。

日本アラブ関係国際共同研究国内委員会事務局『日本とアラブ—思い出の記—（その 1）』同事務局発行、昭和 55 年 9 月、52 ページ。

日本アラブ関係国際共同研究国内委員会事務局『日本とアラブ—思い出の記—（その 2）』同事務局発行、昭和 56 年 3 月、62 ページ。

日本アラブ関係国際共同研究国内委員会事務局『日本とアラブ—思い出の記—（その 3）』同事務局発行、昭和 57 年 12 月、29 ページ。

同委員会はトヨタ財団の 1978 年度助成を受け、第一次「石油危機」以降関心の高まったアラブ地域と我が国との関係を、より古い時代にまで遡って検証する共同研究プロジェクト、「日本・アラブの相互認識に関する研究」（研究代表 前嶋信次）を組織した。助成決定時のプロジェクト概要には、「日本・アラブ双方の研究グループがそれぞれ関係資料文献の調査を行うこと」、「明治以降現在にいたる時期を対象とし、①関係論文・翻訳等の整理検討②関係公文書・政府刊行物の整理検討③関係教育資料の整理検討④関係マスコミ資料の整理検討⑤関係人物往来の記録整理」、「関係者からの聞き取り調査」が挙げられており（<http://www.toyotafound.or.jp> 内「助成対象データベース」より）、同委員会による取り組みは、この種の研究としては初の組織的取り組みであったといえるだろう。成果としては、本冊子に再録された『日本とアラブ—思い出の記—』のほかに、日本アラブ関係国際共同研究国内委員会『日本におけるアラブ研究文献目録』（アジア経済出版会、1981 年）、等が出版されている。

本冊子には、次の講演とインタビューが収められている。

分冊（その 1）

前嶋 信次「イスラーム研究ブームことはじめ —先次大戦末までの思い出—」

大原 與一郎「外務省アラビア語研修のはじめ 一大原與一郎先生にきく」

藤本 勝次「アラブ史研究の思い出 一藤本勝次先生を囲んで」

分冊（その2）

田村 秀治「アラブ諸国との古い関係回想」

同 「日本人とイスラームとの関係」

分冊（その3）

岩永 博「小林元教授の生涯」

「小林元教授略歴、著書および論文目録」

これらの中には、各先生方が中東に携わることになった経緯のほかに、日本における中東研究機関の設立経緯や研究雑誌の刊行状況（前嶋、岩永）、語学学習の試行錯誤（大原、藤本）、研究方法（藤本）、中東における日本の外交活動と経済活動、対ムスリム政策のための日本人による情報活動（田村）、が触れられており、各分冊の「編集後記」でも指摘されたように、ここに再録された講演とインタビューは、第二次世界大戦前から戦後にかけて中東地域と関わってきた日本の足跡を、研究活動、政治、貿易、宗教の多様な側面について、その機微にまで触れながら伝えてくれる貴重な資料となっている。

原資料は、いずれもB5版で、縦書き上下2段組（一部、一段組）で印刷されている。一部の誤植の存在とともに、旧版のコピーを版下にした場合に印字が不鮮明となるおそれがあり、今回の作業では原文からワープロ原稿を起こし、版下とした。このため、本書ではワープロで一般的な書式である横書きとなっている。部分によっては、見やすさを優先し、原文では一まず空白の改行行頭を二まず空けている。原版にあった誤植については、固有名詞や前後の記述から明らかなものについては修正、あるいは《○○》と補足したが、表記のぶれ、送りがな、記号の表記は原文のままとし、できるだけ原文の記述を残すようにつとめた。その他の判断しかねるものについては原文の語の後に〔○○?〕と注記した。「(○○)」「<○○>」の表記は、原文のままである。

なお、これらの資料は、これまでの日本とアラブ地域との関係を再検証すべく組織された研究会（「再考・アラブと日本」研究会：平成13年度終了の日本学術振興会科学研究費学術創成研究費「現代イスラーム世界の動態的研究」総括班所属）によって収集されたものであったが、刊行後20年を経て、基礎的資料の普及を目的とし

て、今回合冊の上再刊することとなった。版下原稿の作成という煩わしい作業を進めるにあたり、川久保一美さん、藤原道世さんの協力は不可欠であり、また、古い研究助成であったにもかかわらず、トヨタ財団からは助成内容や再刊にあたっての著作権、等に関して助言をいただいた。ともに深く感謝いたします。

2002年8月

「日本・中東イスラーム関係の再構築」研究会

(担当 水島多喜男)